



平和の波行動=2023年1月22日 新潟市中央区古町



「不屈」No.584 附録  
新潟県版 No.320

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
新潟県本部

〒950-0843 新潟市  
東区栗山3-8-1  
小日向 昭一 気付

TEL 090-2972-9678

主な記事

● ● ● 新潟「平和の波」行動  
● 大軍拡・大増税を阻止しよう  
● 連載特集  
● 「満蒙開拓団」—その国策とわが一家の足跡 須田 一彦(阿賀野)  
● 新潟県における戦後の革新運動の昂揚とレッドページ  
● 相沢 寛(新潟)  
● 「私と国賠同盟」  
● 文芸の広場—俳句と絵手紙

2023年2月  
伊藤 恭子(副会長)  
県理事会

太刀川武之(小千谷)  
相沢 寛(新潟)

## 新潟「平和の波」行動

伊藤恭子

一月二十二日、新潟市古町十字路で、「核兵器禁止条約」発効二周年記念街頭宣伝が行われました。主催は、核兵器廃絶をめざす新潟県連絡会です。

「平和の波」行動は、原爆投下予定地だった準被爆都市・新潟として毎年八月と一月に行っているものです。スタンディングやリレートーク、折りヅル配りもしています。

今回の行動は、岸田政権の「大軍拡」「大増税」路線への危惧と怒りが広がるものとで行われました。県民のなかに「戦争国家」への危惧とともに、暮らしの不安が広がっています。若い人からは、「借金を背負つて学校を卒業し、働く先が非正規では結婚する気にもなれない」という声が聞かれました。

「大軍拡・大増税に反対する署名」と、「治維法犠牲者国家賠償を求める署名」に取り組みましょう。岸田首相に、「核兵器禁止条約」への署名・参加を強く要求しましょう。

1月の新入会員	
支部	お名前
上越	丸山 節子さん
〃	長尾 厚子さん
〃	藤田 宏至さん
〃	藤田 久子さん
新潟	神田はるひこさん
〃	中村たけおさん
柏崎	茂野 昌平さん

- ①1月6日(金) 常任理事会  
 ②1月7日(土)「不屈」編集会  
 ③1月10日(火)県理事会  
 ④1月22日(日)平和の波行動  
 ⑤1月の会員拡大は7人、会員減  
 は1人で、純増は6人だった。  
 ⑥1月の国賠署名増は152筆  
 (長岡105筆、小千谷20筆、  
 新潟17筆、阿賀野10筆) だっ  
 た。

### ●お詫びと訂正

先月号の新入会員のお名前が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。  
 ×富福由加さん  
 →○福富由加さん

2023年 1月末の到達											
支 部	会員人數	誌友人數	1月の会員増	1月の会員減	出会数	昨年の提国	国賠署名数				累計
							個人	団体	個人	団体	
新潟	127	2	1	2	1,017	10	659	2	150		
長岡	32				1,177	12	170			105	
上越	56	4		1	10		208			52	
阿賀野	16				42		131			30	
新発田	10						10				
五泉	6				10		26				
黒埼	7			1	25	15	33	7			
豊栄	12				9	1					
新津	20			1	7	1					
三条	6				59	3	31				
小千谷	10				223	2	260			42	
柏崎	6	1					10				
魚沼	13				78		63			75	
佐渡	4				50		20	2		10	
点在 県本部	11						17				
県合計	336	7	1	5	2,625	44	1,649	11	474		

「学問の自由」を圧殺し、国民の目と耳をふさぐ反動政治こそ「戦争国家づくり」の不可欠の柱であり、国賠同盟の存在意義が問われる歴史的情勢である。国会内では「戦争国家づくり」へ賛同的相が強まっているだけに、議会外における国民的運動の発展が急務となつてゐる。また、来る統一

は、「敵基地攻撃能力」保有と大軍拡によつて、「専守防衛」という歴代政権の立場をかなぐり捨て、自衛隊が米軍と一体化して海外の戦争に乗り出す「戦争国家づくり」への道を許すか否かが最大の問題となる。一方、政府が今国会に提出予定の学術会議法改悪法案は、学術会議を安保政策の大転換に適合する組織に変質させようとするもので、「戦争国家づくり」をこの面からも推進しようとしている。

## 大軍拡・大増税を阻止しよう

2023年2月9日

治安維持法犠牲者國家賠償要求同盟新潟県本部 県理事会

## (2) 情勢の特徴と同盟の立場

(1) 戦争国家づくり阻止へ、同盟の存在意義かけて奮闘しよう

通常国会が始まった。今国会で

は、「敵基地攻撃能力」保有と大軍拡によつて、「専守防衛」という歴代政権の立場をかなぐり捨て、自衛隊が米軍と一体化して海外の戦争に乗り出す「戦争国家づくり」への道を許すか否かが最大の問題となる。一方、政府が今国会に提出予定の学術会議法改悪法案は、学術会議を安保政策の大転換に適合する組織に変質させようとするもので、「戦争国家づくり」をこの面からも推進しようとしている。

「学問の自由」を圧殺し、国民の目と耳をふさぐ反動政治こそ「戦争国家づくり」の不可欠の柱であり、国賠同盟の存在意義が問われる歴史的情勢である。国会内では「戦争国家づくり」へ賛同的相が強まっているだけに、議会外における国民的運動の発展が急務となつてゐる。また、来る統一

地方選挙では、住民の暮らし・福  
祉を守るとともに、地方から「大  
軍拡ノー」の審判を下すことが求  
められている。

## (2) 「岸田政権の大軍拡を許さない」の一点で 広大な国民的共同を

予算委員会での本格論戦が始ま  
り、大軍拡路線について「専守防  
衛は堅持、「自分の国は自分で守  
る」という岸田政権の2つのウソ  
と、財源論だけに問題を矮小化し  
大軍拡から国民の目をそらそうと  
するゴマカシが暴き出されつつあ  
る。また、自民党の重鎮や知識  
人・文化人、俳優など幅広い人び  
との中で「大軍拡」を危惧する發  
言が広がっている。世論調査でも、  
「軍拡そのものに反対」という  
声が多数になりつつあり、メデイ  
アも味方につけた岸田政権の世論  
操作を乗り越える「新たな潮の

流れの変化」も生まれている。

「大軍拡・大増税路線NO!連  
絡会」が提起した、「平和、いのち、  
暮らしを壊す大軍拡・大増税に反  
対する請願署名」を、「国賠要求  
署名」と併せて同盟の総力を挙げて  
推進しよう。

本県では、岸田政権の「原発回  
帰路線」に呼応する形で、柏崎刈  
羽原発の再稼働へ踏み出す危険も  
強まっており、県民・国民の生命  
と財産を根底から脅かす原発回帰  
をを許さない運動も重要な課題と  
なっている。

## (3) 2023年2月の行事・活動計画

- ①2月1日(木) 常任理事会 (不届) 編集委員会
- ②2月9日(木) 県理事会
- ③2月23日(休) 原菊枝顕彰碑建立実行委員会

## (4) 2月の会員拡大・署名

- ①会員拡大目標…純増5名以上
- ②国賠署名増…1000筆到達目標
- ③「全支部成果」と「支部活動の活性化」を大切に。

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| ①柏崎市、五泉市での支部活動強化の可能性を探る。 | ②燕・西蒲支部建設の可能性を探る。 |
|--------------------------|-------------------|

## (5) 支部の再建・強化など

### (6) 「新潟県関係の治安維持法犠牲者名簿 の頒布にむけて

- ①250冊作つたが、1月末の頒布済みは、約50冊。
- ②頒布先をどう広げるか…日本共産党へ普及の協力を要請。

## (7) 映画「千代子」の上映運動

- ①柏崎市での上映の具体化…3月12日上映→チラシ(4000枚)、前売券(400枚)の活用。
- ②五泉市での上映の具体化…7月12日・ラポルテ五泉午後2時
- ③その他…新潟市、長岡市、村上市等、地方選後具体化へ。
- ④ツアーや、学習会等、春先以降の行事計画…春(地方選後)以降

## (8) 100周年・木崎争議の教訓を語り継ぐとりくみ

新潟市北区(豊栄)、五泉・秋葉区、化。

西区、中央区等…統一地方選後具体

## (9) 「原菊枝顕彰碑」建立運動「実行(建設) 委員会」設立(2月23日午後1時30分 ( )に向けて

- …案内状の作成と呼びかけ…郵送
- …統一地方選との兼ね合いでの検討
- 先、訪問先の確定と実践

## (10) その他

次回の常任理事会・県理事会日程

…案内状の作成と呼びかけ…郵送



# 「満蒙開拓団」—その国策とわが一家の足跡

## 第2回

須田一彦（阿賀野）

### 「未来に向かって」

あの時代に聞いかけてみます。

なぜ満州へ行ったのですか。

今を生きるあなたに聞いかけてみます。

あの時代に生きていたら、どうします

か。

日本と中国双方の人々に多くの犠牲を出した

「満蒙開拓団」とは何だったのでしょ

うか。

閉ざされていた記憶を寄り添い、

向き合いたくい真実に目を向ける時がきました。

この歴史から何を学ぶのか、

私たちは問われています。

「負の遺産」を「正の遺産」と

置き換えていくこと、

歴史に学び、今を見つめ、未来をつくる。

その英知が私たちに問われています。

同じ過ちをくりかえさないために、

平和な社会を築くために。

（一部削除と重複）

### 1部 満州国とは何だったのか

#### 1、「満州国」の成立と政治体制

中国東北部、かつて日本はこの地を「満州」と呼び、日本と中国一つの国の人々に大きな傷を残した土地です。昭和20年まで27万人の開拓団を送り込みました。

「五族協和・王道樂土」をスローガンに民族が融和する理想郷を目指した満州。多くの日本人が夢を描いたこの地に、終戦の間際から地獄のような光景が展開されます。

昭和20年8月9日、突然のソ連軍の侵攻により国境近くにいた日本人は悲惨な戦闘に巻き込まれました。集団自決、残留孤児など今まで残る悲劇が生まれたのです。

「満州国」は当時の中国の領土の約(12%)。満州の「建国」は昭和7年(1932年)です。当時の中華民国の一部(中国東北部)。日本の現在の面積の約3倍、

人口3千700万。国境をソ連、中国、モンゴル、朝鮮に接しています。

満州国の建国時、日本人は11万人、0.3%に過ぎなかつたのです。ここに日本は昭和7年傀儡国家「満州国」を建国します。世界は認めませんでしたが、日本の敗戦まで13年間あつた幻の国です。

「中国東北地方・満州・満蒙」と言いますが、日本が支配した地域は4つの省で、北から黒竜江省、吉林省、遼寧省・1年遅れて熱河省が入ります。熱河省が内モンゴル領内だったので、「満蒙」という言い方もします。

都市は、北からハルビン、長春(新京)、奉天、大連、旅順です。この鉄道を南満鉄道といい約550キロ、特急アジア号が8時間で走りました。

日露戦争の結果、日本はこの地

でロシヤから二つの権利を獲得します。一つはこの鉄道経営権利、もう一つは関東州の使用権利です。関東軍の駐留を含め、満蒙3権益といいました。

満州へ出た軍隊「関東軍」・この名前は、万里の長城の東端、山海關の東の(旅順)に最初の軍本部を置いたため、この名前になりましたが、後に軍本部を新京に移転します。

昭和6年9月18日市深夜、関東軍の工作によって、鉄道線路が爆破される事件が起きます。軍は中國側の仕業として、ただちに戦闘行動を開始し、数か月の間に満州全土を制圧します。いわゆる満州事変です。

その翌年3月1日、「満州国独立宣言」を三省の首領からなる東北行政委員会に発表させます。「東三省は、南京政府から離脱し独立せり」という独立宣言です。9月にはその「独立国満州」を日本が承認するという形をとりました。中国に利権を持つていた諸外国はこれに猛反対し、リットン調査団を派遣調査し、国際連盟で「民族自決ではない」と報告し可決(40対1・日本)しました。

これをきつかけに、日本は国際連盟を「脱退」し「孤立と軍國化」への道をつき進む事になります。そして熱河侵攻を開始し、翌年満州の1省に入れ込みます。

満州国の政治体制は、皇帝に溥儀を擁立しましたが、「政治に干

渉しない」誓約をとり、憲法・国籍法・国民の規定はありませんでした。政府組織の各次長には、日本官僚がつき、全ては最終的に

は関東軍の承認なしには実施できない、傀儡政権でした。

ここで、辣腕を振るつたのが岸

ない、傀儡政権でした。

ここでの事です。

（以下次号）

## 新潟県における戦後の革新運動の昂揚と

### レツドページ 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



第2回

### 第2回

相沢 寛（新潟）



## ◆「私と国賠同盟」

# 憲法が生かされる社会に

太刀川武之（小千谷）

憲法第19条は「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」と定めている。思想とは何か国語辞典によれば、その人の生活（行動）を規定し、統一する所の人生観・社会観・政治観の総合されたものとある。所謂、生き方である。

昭和32年、私は高校を卒業し、大光銀行に就職する。労働組合で活動する中で、理不尽な社会を知るようになつた。しかし、昭和38年、組合は分裂し、組合脱退攻撃が始まつた。昭和40年、私はたたかいの中で日本共産党に入党し、自分の生き方が決まつた。

組合脱退攻撃は日に日に熾烈を極め、多くの組合員は脱退し、第2組合に加入させられた。最終的に組合（第1組合）に留まつたのは40人。私は執拗なアカ攻撃を受け職場で監視され、退行後は尾行までされた。私が屈せず留まつたのは、自分が正しいと信じる良心があつたからと思っている。

内山愚童は、葬儀や法事だけでは僧侶の使命は果たせない、民衆の貧困や苦痛からの救済が必要が必要だと考え、社会主義に共鳴し、自由平等、博愛、非戦を掲げて命がけの活動をする。

明治44年、内山愚童は大逆事件で検挙され、非公開の裁判で同志12人と共に処刑された。しかし、この事件は罪なくして断罪されたことが戦後明らかになつていて。

私は、「内山愚童師の偲ぶ会」の活動を通じて仲間から誘われ、治安維持法同盟の会員になつた。今、大軍拡が進められようとしている。再び戦争をしてはならない。

平成10年、私は銀行を定年退職した。退職後は、地域で、年金者組合、9条の会、生活と健康を守る会の活動に参加している。

平成24年、「内山愚童師を偲ぶ会」の結成に関わり、明治時代、小千谷出身で民衆に尽くした僧侶がいたことを初めて知つたのである。

## 文芸の広場

## 俳句と絵手紙

## 文芸の広場

俳句

町田 綾子（上越）

雪間草真っ先に来る子しの靴  
早春の雑木林のさやぎかな

下崩に手と手を重ね道祖神  
守る会の活動に参加している。

廣瀬喜代子（新潟）

軍靴踏む大地は花の咲くを待つ  
砲弾をくぐりて子しの春遠き  
埋火やこのごろにしてわかるこ



最近寒いぞ写りや。  
夏より冬の方が好きさう。  
こたつでぬくぬくしていい  
時が至福の時間です。  
つい最近の私の冬装備は  
こよね暖かい。

飛田香奈さん（新潟）

● 投稿ありがとうございます。会員のみなさんの積極的な投稿をお待ちしております。（編集部）



笠原順子さん（新津）

# 軍国日本の再現を許すな！正念場の2月・3月、地方選挙勝利、署名推進で格段の前進を！



## 国政変革の基礎、統一地方選挙に勝利を

地方選挙が始まりました。御坊市議選は、日本共産党や後援会の力で楠本香織さん、小川春美さんが勝利し、2023年の選挙を率先よくスタートさせました。

2月には、日高町、由良町で町議会議員選挙、4月の前半には紀の川市、和歌山市、御坊市、西牟婁郡で県議会議員選挙が行われます。4月の後半では、橋本市、九度山町、和歌山市、紀美野町、湯浅町、すさみ町、新宮市で市議会・町議会議員選挙、どの選挙区も日本共産党候補をターゲットに有力候補が立候補を予定される激戦区です。治安維持法犠牲者の名誉回復を

## 会員拡大と請願50回目 の署名の推進、軍拡反対 の新署名も併せて

国会議員が全体として右傾化している中で、彼らの歴史認識を改めさせる数少ない署名です。犠牲者の名誉回復は並大抵のものではありませんが、「不屈」が私たち同盟のモットーです。50回請願で國

私たちの運動の基本  
ふたたび戦争と暗黒政治を許すな  
一、治安維持法体制の復活に反対する。  
二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認める。  
三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。  
「新しい戦前」(タモリ)が始まっています。日本が「敵基地攻撃」など標榜する武断国家に変質しようとしています。大手マスコミでは軍拡批判はほとんど見当たりません。この辺りも「新しい戦前」です。

我々の世代でここは何としても食い止めましょう。同盟と我々世代のまさに歴史的使命です。

地方選挙も、署名もその大きな

和歌山県版  
No.378  
2023.2.15

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
和歌山県本部

毎 640-8343  
和歌山市吉田 102  
国労会館 2階

FAX:073(422)7076  
<http://wakayama.exblog.jp/>  
<http://6250.teacup.com/chianijihou//bbs/>  
email:[chian\\_giseisya@yahoo.co.jp](mailto:chian_giseisya@yahoo.co.jp)

## 2.11 和歌山市集会開かれる

2023年 平和・人権・民主主義 2.  
11 和歌山市集会が、2月11日、和歌山市内でオンラインでの参加も含めて開かれました。

山本恒人氏（大経大名誉教授・日中友好協会全国副理事長）による「内憂外患の中と題した講演がおこなわれました。

中国憲法には社会主義法治国家という規定はあるが、國家権力は共産党により指導される存在であり、中国共産党が超法規的存在として君臨する構造である。中国革命は民の支持を受け、国民主権だったが、今は西側先進国の価値観に従う

### 統一地方選に会員がんばる

#### 市町議会議員選挙

橋本市	阪本久代（現）
九度山町	高本勝次（現）
和歌山市	伊丹俊也（現）
紀美野町	井本有一、坂口多美子、
湯浅町	中村朝人、南畠幸代、
すさみ町	森下佐知子（以上現）
新宮市	美濃良和（現）、
和歌山市	埴谷高夫（新）
御坊市区	久澄顕人（現）
西牟婁郡区	竹本直美（現）
高田由一（現）	小川峰男（新）

（敬称略）

4月7日投開票の県議会議員選挙、同23日投開票の市議会・町議会議員選挙に、同盟会員と支持者の次の方々が立候補を予定して奮闘しています。

#### 県議会議員選挙

紀の川市区	杉山俊雄（現）
和歌山市区	奥村規子（現）
松坂美知子（新）	楠本文郎（現）
高田由一（現）	西牟婁郡区

のではなく、中国独自の道を進むことであり、その核心は党がすべてを指導する社会であるということである。1993年頃から5つの社会的保障はあるが、主に国有企业の内部のみであり、農村部までには至っていない。従って、中国は社会主义ではない。安保3文書が閣議決定され、敵基地攻撃能力を保有することになる。西側民主主義社会自体が大きな混乱期にあり、社会の分断や極右勢力の台頭などがあり、かつて日本中国交回復を支えた歴史に対する日本国民の深い反省は反故にされようとしている。また、台湾、香港等との問題にも深く触れられました。（矢田）

### こだま

1928年2月1日に『赤旗』が創刊されて今年で95周年だといふ。1928年は、「治安維持法」が、大幅に改悪された年でもあります。そして、全国で1600人もおよぶ人たちが犠牲になつた3・15弾圧事件の年である。◆県本部発行の『治安維持法犠牲者名簿(第2版)』で見ると、3・15弾圧事件の犠牲者は、西光万吉（本籍・奈良県）、楠山通、宮井進一、山田六左衛門（本籍・鹿児島県）の4人が掲載されている。◆『赤旗』創刊と時を同じくして発生した「治安維持法」による、3・15大弾圧事件その後に続く弾圧。戦争に反対するあらゆる団体・個人への弾圧を決して忘れてはならない。いま自公岸田内閣は、憲法を無視し世論を無視して、歴代自民党政権も踏み込まなかつた「敵基地攻撃」を公言、膨大な軍事費の予算化を推し進めている。◆真正面から大軍拡の実情をつたえ、戦争への道に反対する『しんぶん赤旗』と、国賠同盟の役割が益々重要な時だ。◆2月20日は90年の、小林多喜二の忌日もある。